

The background of the slide is white, decorated with various pink elements. There are several stylized cherry blossom flowers of different sizes, some with detailed centers. Interspersed among the flowers are numerous soft, out-of-focus pink circles of varying diameters, creating a gentle, spring-like atmosphere.

京都総合福祉協会 4月トピックス



新館が完成しました！地域との交流の場・個別活動スペースの確保から夏期の避暑地の確保まで、様々な効果を期待しています。効果的に活用して、より良い支援を提供します。

授産園



玉ねぎもサニーレタスも順調に育っています。ポカポカ陽気も増えてきたので、いよいよ草抜きが大変な季節になってきました。

すずかけ



（左）3階は、満開の桜を見に散歩へ出かけました。満開の桜を背景に記念撮影✌️



（右）4階は、創作活動で桜の壁画を制作しました。桜の形に切った折り紙に色を塗っていただいて全員で貼り付けました🌸

コスモス



4月のOBOG会は植物園に行ってきました。今回はたくさんの参加があり、所長にもお手伝いで参加して頂きました。先輩方の話を聞く後輩たち。楽しい1日になりました。

花水木



女性利用者中心のとことこ班では、毎月玄関に飾る貼り絵を制作しています。細かい作業もありますが、みなで協力して仕上げています。

更生園



療育で行くことの多い、きらきら園の近くの公園では、桜が満開でとても綺麗でした♪

今年度も、みんなの笑顔が、「きらきら」と輝きますように☆

きらきら園

“ハンケイ500m”というフリーマガジンをご存じですか。京都人の顔が見えすぎるウェブメディアをテーマに編集されています。～京都の土壌における「職人」というキーワードに着目、あるバス停から半径500mの円内をくまなく歩きます。そして、独自の哲学、ポリシーを持った「職人」気質の方々を発見し、取材して巻頭で特集しています。～

(<https://hankei500.com/>) より抜粋

このフリーマガジンの姉妹誌に“ハンケイ5m”があり、こちらは医療や福祉現場の「職人」も取り上げられることがありますので、ご興味を持たれた方は是非一読を。

地域生活支援センター「うきょう」



5月1日号のKYOTO市民しんぶんに「発達障害について知ろう」という特集が掲載されました。記事の作成にはかがやき職員も協力しています。発達障害の特性と接し方への理解が広がり、誰もが暮らしやすい社会の一助となればと思います。

発達障害者支援センターかがやき



洛西地域には4つ子ども食堂があり、その内の一つcafé 樗さんが「ふれあい食堂けやキッズ」を毎月1回と長期休み等に開催しておられます。「らくさい」職員も一緒に参加させてもらっています。cafeのマスターと奥様がいつも笑顔で暖かく迎え入れてくれる優しい子どもの居場所です。

地域生活支援センター「らくさい」

4月はあっという間に過ぎてしまいました。今年初めてのサロンも楽しく過ごしてもらうことが出来ました。6月に実施する「お出かけ企画」に向けて、職員総出で準備を進めているところです。企業就労されている方々のいい気分転換になるような企画にしたいと思っています。



就業・生活支援センター

新年度がスタートしました。よろしくお願いいたします。5年ぶりに、小学校とすぎのこ教室との話し合い（引継ぎ）を4月に入ってから行いました。45分の授業の時間帯を区切り、別室で遊ぶ時間を作りながら学習できるように工夫されていました。スクールバスで通学したり、給食を少しは食べられたり、こちらの心配をよそに頑張っている姿を聞くことができました。別室で遊んでいたのにタイムタイマーが鳴る前に教室に戻ってきたと言う話を聞いて「タイマーの音が嫌だったのですね」と言うと「あー、時間がわかって早めに戻ってきたのでなく音が嫌だったのですね」と苦笑いされていました。好きな遊びを聞いて「ゲーム感覚で数の学習に使えるそう」と話されていました。また、何回かこのような機会があればよいなと感じました。

すぎのこ教室